

かんがえるって おもしろい！

がくしゅう ひかりのくに もっとしりたい！

5領域
10の姿
との関わり

人
環
言
3
6
8
9

今日の活動のねらい

- ★長音・促音と清音の音の違いに気付く
- ★友達と手をたたき遊びを楽しむ
- ★身の回りで長音・促音の言葉を見つける

活動時間

30分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

がくしゅうひかりのくに
もっとしりたい！ 10月号
p.14～19

言葉

おとに あわせて
てを たたこう



活動の内容と流れ

長音・促音の言葉を声に出して手をたたいて音の違いに気付く

6月号の言葉コーナーを振り返って清音の手のたたき方を思い出す

→10月号を保育者の絵本一冊で読み進め、手のたたき方を

みんなて確認する

→絵本の絵にあるもので練習したり友達と一緒にやってみる

→身近なもので長音・促音の言葉を探し手をたたいてみる



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
友達と相談しやすいように
ペアやグループを作っておく

○
身近な言葉で長音・促音を見つけ
手をたたいてみる遊びを何日か続
けて、理解を深めていく

○
たたき方のルールがわかって
いるか丁寧に確認する

◆
ホワイトボードなどを用意し
子どもたちから出た言葉を
書き残せるようにしておく



活動後、振り返りのポイント

- ★清音と長音・促音の音の違いを理解できたか
- ★言葉のどこに長音・促音があるかわかったか
- ★友達と一緒に言葉を見つけたたり手をたたいて遊んだりすることを楽しめたか

今日の活動のねらい

- ★小学校に興味を持つ
- ★小学校について友達と話したりして期待を高める

活動時間

20分

タイミング

午後

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 10月号
p.22~27

社会

たのしい ばしょ、どこだ?



活動の内容と流れ

小学校について知り期待を高める

- 写真をよく観察できるようにそれぞれ絵本を持って読む
- 写真を見て気付いたことをクラスで共有する
- その他に知っていること（どんな教室があるかなど）や楽しみなことを発表する
- 気になることや知らないことがあれば調べる



保育者の◆環境づくりと○援助



園のお部屋と違うところに
気付けるよう注目を促す



期待が高まったり、そこで過ごす
姿を想像できたりするような言葉
をかける



小学校コーナーを設置し小学校に
ついて知ることができたりごっこ
遊びができるようなスペースを作る



不安に思っている子どもの気持ち
も受け止めフォローする

活動後、振り返りのポイント

- ★小学校について友達同士で話したりする姿が増えたか
- ★小学校への期待が高まったか

今日の活動のねらい

- ★身近な自然の素材に興味を持つ
- ★楽器作りを通して音や素材への探究心を育む

活動時間

30分

タイミング

午後

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 10月号
p.2~13

自然のお話
どんぐり ころころ コンサート



活動の内容と流れ

お話を楽しみ、楽器を作ってみる

- 保育者の絵本一冊で読み進める
- 歌が出てくるところではみんなて歌って参加する
- お話に出てくる楽器の音を想像して言葉で表現する
- 身近な自然物や廃材を使って楽器を作ってみる



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
事前に廃材を集めておき、読後に自然物を集めに出かける

◆
音の実験コーナーを作り試し鳴らしがでるスペースを作っておく

○
入れるものの数や素材による音の違いに気づけるよう言葉をかける

○
難しい子がいれば、作りたい楽器のイメージを聞き出し、一緒にアイデアを試すなどきっかけを作る

○
子どもたちの発言をしっかり受け取りアイデアが広がるよう手助けする



活動後、振り返りのポイント

- ★音の性質に気付き工夫できたか
- ★音のイメージを言葉や仕草で保育者や友達に伝えようとしていたか
- ★友達のアイデアに関心を持ち刺激を受けていたか

今日の活動のねらい

- ★気持ちには様々な表現があることを知る
- ★友達や身の回りの「すごい」ところを発見し
認め合う心のゆとりを育む

活動時間

15分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 10月号
p.20-21

気持ち
すごいって
どんな きもち?



活動の内容と流れ

絵を読み取り表情やシチュエーションを考える

- 子どもたちが探せるよう絵の読み取りに時間をかける
- 見つけた「すごい」を発表する
- どんな気持ちか、シチュエーションを言葉で表現してみる
- 絵のシチュエーションのいくつかを例にして
みんなだったらどんな風に「すごい」と伝えるか話し合う
- 友達の「すごい」と思ったことを発表する



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
グループを作り、少人数で
じっくり絵を見られるよう
にする

○
他にはどんな表現があるか
クラスで考えさらに深めて
いく



◆
見つけた「すごい」の
表現をホワイトボード
などに書き出していく

○
友達のすごいところを
発表する時間を作る
具体的に話せるように
都度言葉をかける

活動後、振り返りのポイント

- ★表情や様子から気持ちを感じることができたか
- ★いろんな表現を使えるようになったか
- ★友達の意見を聞き、自分の中に取り入れられたか

今日の活動のねらい

- ★10のまとまりを作って数える方法に親しむ
- ★シール貼りを楽しみながら10のまとまりを確認する

活動時間

20分

タイミング

午後

使う絵本・コーナー

かくしゅうひかりのくに
もっとしりたい! 10月号
p.28~33

数

なんわかな?



活動の内容と流れ

絵本を見ながら実際の数に触れ、理解を深める

それぞれ自分の絵本を見ながらクラスで一緒に読み進める

→まずひよこが21羽いるか数えてみる

このときに数のばらつきがあった場合も否定せず

ホワイトボードなどに数を書き出すなどする

→しかけをめくって10の単位を使いながら

ひよこの数を確認する

→10の単位を意識しながらシールを貼る

→読後、数の多いものを数えるときに10の単位を使ってみる



保育者の◆環境づくりと ○援助

○

ペアやグループを作って友達と
確認し合えるようにする

○◆

9月号を用意し、10の合成分解を
思い出せるようにしておく



○

1場面目のひよこを数えた際の数の
ばらつきを否定せず数えにくさ
を感じられるようにする

○

「10が2個で20」という考え方に
ついて丁寧に伝える
必要があれば実際におはしきなどを
20個用意し動かしながら確認する

◆

日常生活の中でも10の単位を
意識できるようにする

活動後、振り返りのポイント

★数への興味、理解は広がったか

★10を単位として数える方法を理解できたか